



「妊娠期から子育て期にわたる 切れ目のない支援をめざして」

日時：平成30年3月8日（木曜日）
13：30～16：30（受付13時より）

場所：滋賀県看護研修センター

草津市大路二丁目11番51号

JR琵琶湖線 草津駅東口より徒歩10分

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。



対象：母子保健領域で活躍する看護職

研修テーマや内容に興味関心がある看護職 *会員・非会員は問いません。

参加費：資料代 500円



母子保健法の改正により、各市町において平成32年末までに、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない相談や支援のための「子育て世代包括支援センター」の設置が進められています。

周産期死亡率が低くなった一方、県下のNICU（32床）の稼働率は高く、医療的ケアの必要な児も多くなり退院支援や関係者との連携は重要です。

そこで、母子保健領域で活躍する三職能が共同に、実践や情報を共有し、滋賀県の周産期医療や母子保健における切れ目のない支援に役立てたいと思います。

《Ⅰ. 実践報告》

1 「滋賀県の母子保健・周産期医療の現状と課題」

要石 恵利子氏 滋賀県健康医療福祉部健康寿命推進課母子保健・周産期係
課長補佐

2 「子育て世代包括支援センターの役割や機能、その仕組み」

中村 貴子氏 野洲市健康福祉部健康推進課 保健師

3 「ハイリスク妊産婦や新生児看護の現状と課題」

前川 孝枝氏 長浜赤十字病院 助産師（滋賀県看護協会 助産師職能委員）

4 「NICU/GCU から退院する母子への支援と地域連携」

里見 順子氏 大津赤十字病院 総合周産期医療センター
新生児集中ケア認定看護師

5 「医療的ケア児の訪問看護と関係者連携」

多久島 尚美氏 訪問看護ステーションちょこれーと。
管理者（看護師）



《Ⅱ. グループワークと発表》